

研究課題名

¹²³I-IMP 脳血流シンチグラフィ超早期像の有用性に関する研究

患者様医療情報の研究利用について

脳血流シンチグラフィは脳の血の流れを調べる検査で、北里大学病院では主に ¹²³I-IMP (以下、IMP) という薬を使用しています。IMP は静脈から注射された後、血流に応じてゆっくりと脳に集まります。通常は頭を固定してから IMP を注射し、IMP が脳にしっかりと集まるのを待って 15 分後から約 30 分間かけて早期像を撮影します。北里大学病院では、早期像の撮影を待つ間に超早期像を撮影しています。超早期像を撮影しても検査時間も検査で受ける放射線の量も変わりません。脳に IMP がよく集まっていないのできれいな画像になりにくいですが、状況によっては血流の異常がわかりやすくなる可能性があります。

本研究は、北里大学病院で既に撮像された脳血流シンチグラフィを解析し、超早期像の画像解析方法を検討するとともに、異常な血流増加の評価に役立つかを評価することを目的にしており、脳血管障害の診療の改善につながることを期待されます。

研究対象となるのは北里大学病院で 2012 年 7 月 1 日から 2017 年 10 月 30 日までに IMP を用いた脳血流シンチグラフィを施行された患者様のうち、頸動脈内膜剥離術後、頸動脈ステント留置術後または脳梗塞発症後 1 ヶ月以内に検査を受けた方です。

「年齢、性別」「身長、体重」「喫煙歴」「臨床診断名」「治療内容と治療から脳血流シンチグラフィまでの経過日数」「IMP 脳血流シンチグラフィ画像データ (頸動脈内膜剥離術、頸動脈ステント留置術後の患者様では、治療前の画像データを含みます)」「CT 画像」「MRI 画像」です。なお、本研究で用いたデータを他の研究で使用することはありません。

個人情報外部に漏れないように、収集した情報はカルテ番号とは別の管理用 ID をつけて解析し、カルテ番号と照らし合わせることで対応表は鍵のかかる保管庫で、データ管理者が厳重に管理します。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

本研究の調査対象に該当する患者様、または代理の方で、診療情報の提供に同意されない方は、下記の連絡先にお申し出ください。2018 年 3 月 31 日までにお申し出のあった患者様のデータは直ちに破棄し、研究には用いません。これ以降は取り除くことができません。調査に同意されなくても診療上の不利益を被ることは一切ありません。また、本研究に関して、ご質問などがございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先

〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1
北里大学医学部放射線科学 (画像診断学)研究責任者：原 はら 敏将 としまさ

TEL : 042-778-7903